



会員スキルアップ研修会開催

CTF 松阪では去る 1 月 13 日（火）に松阪市障害者福祉センターにて、日ごろ障害者の方々の IT サポートに従事している会員を対象とした研修会を開催しました。

当日は、NPO 法人三重難病連会長河原洋紀氏による『望まれる支援活動』と題する講演を聴講したほか、IT サポートの実技研修、意見交換会による相互啓発など、実りの多い研修会でした。

河原氏の講演要旨は次のとおり。

- 支援者は情熱を持って、受講者の心に火をつけること。
- 常に、目配り、気配り、心配りを忘れずに。

- 「受講者」、「講師」、「社会貢献」、「独自性」のバランスが大切。
- 活動が認められれば、深山の桜のように自然に道が付く。



右の写真は講演会の様子



愛 郷 無 限



相変わらず仲間と炭焼き(竹炭・花炭)を楽しんでいます。

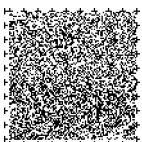
私は、土・日しか参加できませんが、他の仲間は毎年10月～11月頃竹を切り、2月～3月にかけて運び出します。それを竹炭にするのですが、この竹の切り出し作業が一番の苦勞です。

竹材の量にも限りがあり資源の有効利用を図るため、少量で炭焼きが楽しめるようドラム缶でミニ窯を作ることとしました。これにより炭作りの期間が大幅に短縮(分業により 2 日で OK)し、人気の花炭(花・野菜・果物等を炭にする)作りが何度も楽しめます。ミニ窯は 2 月中には完成させたいと思っています。CTF の会員の皆様もぜひ竹炭作りにご参加ください。

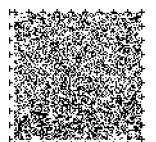
竹炭は環境にやさしい事で注目されていますが、その効用等は次の通りです。

- 水を浄化するから・・・炊飯に利用、お風呂に利用、生け花の活性化
- 消臭・防臭に効果・・・室内の消臭、冷蔵庫・下駄箱の消臭等
- 除湿作用・・・押入れ・タンスに入れる、床下に敷く
- 防菌性を利用・・・シロアリの駆除、植木鉢の虫除け

(次ページへつづく)



今月号は文字数が多いので、第 1 ページと第 2 ページ、第 4 ページにSPコードを2個ずつ付けてあります。第 1 ページと第 2 ページ、第 4 ページでは、先に左下のSPコードを、次に右下のSPコードを読んでください。





スパイウェア対策は一筋縄ではいかない - 1 -

スパイウェアが情報を盗み出す手口とユーザーのパソコンに入り込む手口を紹介してきましたが、ではどのようにしてスパイウェアを防げばいいのでしょうか。有効なのは以下の対策を組み合わせた多重防御しかありません。

- (1) ユーザー自身が意識して実行しないようにする
- (2) スパイウェア対策ツールで検出・除去する
- (3) パーソナル・ファイアウォールで情報の送信を止める

スパイウェアはユーザーに実行させるのに工夫を凝らしています。また中には巧妙にスパイウェア対策ツールをすり抜けるように開発されたものもあります。気を付けていても実行してしまう可能性だって否定できません。

ではユーザーはどのようにスパイウェアを防げばいいのでしょうか。有効なのは複数の対策を組み合わせた多重防御しかありません。

1、セキュリティ設定を再確認

まずはユーザー自身がスパイウェアを実行しないようにすることです。それには Web ブラウザのセキュリティ設定を安全に保っておくことです。読み込んだソフトを自動的に実行するように設定してはいくらユーザーが気を付けていてもスパイウェアが侵入してしまいます。

「ブラウザのセキュリティ設定を安全に保っておく」ということは、インターネット接続時のセキュリティ設定をデフォルト設定の「中以上」に保っておくということです。こうしておけば Web ページを表示しただけで ActiveX コントロールがインストールされたり、リンク先のファイルを自動実行したりすることはありません。

さらにトラッキング Cookie を禁止したいなら、ツールからインターネット・オプションを開き、プライバシー設定の詳細設定でサード・パーティの Cookie の「ブロックする」にチェックを入れておけばいいのです。

つづく

四五百の森 (前ページからのつづき)

竹酢液の活用 原液・・・除虫、除草

十倍液・・・湿布(打ち身・火傷・虫刺され・皮膚炎・むくみ・肩こり・便秘などの時十倍液を温めて布に浸して患部に当てる)

百倍液・・・殺菌、消毒

千倍液・・・土壌改良、堆肥作り

*医薬品ではありません

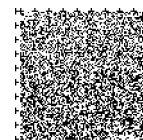
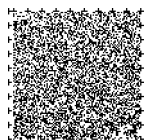
花炭 インテリアとして好評

パイナップル・バナナ・レンコン・かぼちゃ等が面白い(高価なものは避ける)

我々仲間に朗報です。

昨年古家を購入した陶芸家の花井さんが村の新しい住民になりました。新たな出会いを大切に、協力関係を構築したいと思っています。(次回は陶芸についてお教えできるかも)

感謝の丘・ほたる窯 代表 三田 守



活動報告

【1月】

障害者対象個人向けパソコン講座
(13日、20日、27日)

会員スキルアップ研修会
(13日)

障害者宅訪問 IT サポート
(17日、22日、24日、28日、29日)



活動予定

【2月】

障害者対象個人向けパソコン講座
3日、10日、17日、24日
各9:30~11:30
松阪市障害者福祉センターにて



上の写真は小野江町の渡し場跡に建つ常夜灯

まつさか歴史街道

伊勢街道(1) 小野江町から松阪城下まで

伊勢街道は、四日市市日永の追分で東海道から分かれて伊勢にいたる街道。参宮街道とも呼ばれる。

松阪市内のルートは、津市南部の雲出島貴町から雲出川を舟で渡り松阪市小野江町へ入り、関西方面から伊勢へ向かう奈良街道や初瀬街道を合流して六軒・市場庄・久米・塚本・船江を経て松阪城下へ通じている。

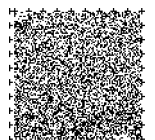
この街道沿いには、北海道の名付け親である松浦武四郎の生家があり、現在松阪市において整備し公開するよう計画されている。

市場庄町には、通りに面して妻入り・連子格子の町家や蔵が連続し、往時の面影がよく残っている。また同町には、平安時代斎王群行に従った女官が都を偲んで歌を詠んだという「忘れ井」があるが、この「忘れ井」は初瀬街道の嬉野宮古町にもあり、どちらが本物なのか興味深いところである。

(写真は市場庄町の家並み)



次号につづく



はじめてのショートステイ(6)

O.I

○月○日（月曜日）曇り

息苦しさで目が覚める。時計を見るとまだ6時過ぎだ。急いで窓を開けると朝の冷気が部屋いっぱいになだれ込んでくる。気持ちいい。空は今日も雲で覆われている。ここへ来てまだ1度も晴れた日がない。お日様が恋しい。

ぼんやりと外を眺めていると車が入ってきて玄関に止まった。しばらくすると食堂で「おはようございます」「お帰りなさい」という声が聞こえる。ああ今日は月曜日なんだと実感する。

7時半、簡単な朝食を済ませて新聞を読んでいるとナースがやってきて「今日はお風呂です」と体温計を渡される。36.5度。無事クリアー。

部屋に帰って待つ。待てど暮らせどお呼びがかからない。忘れられたのではないかと半分あきらめていたら11時過ぎ、ようやくお呼びがかかる。新入りなので1番最後だったのだ。

1階の浴場へ行く。前にはすっぽんぽんにされた先客が2人専用車に乗せられて順番を待っている。2人の洗女が芋でも洗うかのように頭からシャワーをぶっ掛けて手際よく処理していく。

手すりをしっかりと握り締めて滑らないように注意しながら洗い場に入る。「座って」と指示されるが、座ると立つのが大変なので立ったままで、頭からシャワーをぶっ掛けてもらい、頭の先から足の先まで前も後ろもきんきらきんに洗ってもらう。中国のエンペラーになったようで気分爽快。

湯船には手すりが付いていて階段状になっているので、入るのはいいが出れそうもないので入るのをあきらめる。

手際よく処理されて、仕上げにドライヤーで頭髪を乾かしてもらって一丁あがりである。

気分爽快で2階に戻ると昼食が始まっていた。ずいぶん顔ぶれが変わっている。驚いたことに最初からのメンバーは私も含めて3人になっていた。それに男女比も逆転している。

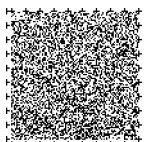


編集後記

昨年から、松阪では不審火と思われる火事が多く発生しました。

初午が早いと火事が多いといわれています。今年は、初午が早くその可能性も考えられます。

火の元に気をつけ、家庭でも火災報知機の設置により初期に気がつくようになればと思います。



CTF 通信第 71 号

2009 年（平成 21 年）2 月発行

発行者 IT を活用した障害者支援 NPO 法人

CTF 松阪

発行責任者 川 口 保 美

住 所 〒515-0081

松阪市本町 2181-1

電 話 0598-21-7268

U R L <http://ctf.dip.jp/>

